

平成 29 年度第 1 回下野市社会教育委員会議 議事録 (要旨)

- 1 日 時 平成 29 年 6 月 20 日 (火) 13 時 30 分～16 時 00 分
- 2 場 所 庁舎 2 階 203 会議室
- 3 出席委員 委員長 五月女 洪
副委員長 水田 あけみ
委 員 小林 溶子
島田 実
花澤 公久
佐藤 善行
大垣 玉枝
吉田 聡
高木 香奈子
- 4 出席職員 教育長 池澤 勤
生涯学習文化課長 近藤 善昭
国分寺公民館長 齋藤 光利
南河内公民館長 福田 一也
生涯学習推進グループ 大門 啓美
塩濱 弘子
漆原 聡
- 5 議 案
(1) 下野市公民館振興計画について
(2) 社会教育関係団体に対する補助金交付かかる意見について
- 6 その他
栃木県社会教育委員協議会評議員の選出について

委員長	あいさつ
教育長	あいさつ
	諮問書伝達
委員長	議題に沿って進める。欠席委員もいるが、みなさんから忌憚のない意見をいただきたい。 議題（１）下野市公民館振興計画について 平成 29 年度社会教育委員会議のスケジュールについて説明を求める。
事務局 委員長	資料 1 に基づき説明 質問はあるか 〈質問等なし〉
事務局	7 月は 27 日（木）午前 9 時 30 分から合同会議の開催を予定している。 続いて、振興計画（素案）について説明を求める。
委員長	資料 2 に基づき、目次、Ⅰ 公民館振興計画策定の趣旨、Ⅱ 公民館振興計画の位置づけと計画期間を説明 意見はあるか 〈意見等なし〉
事務局 委員長	続けて、説明を求める 2 ページ以降、資料に基づき説明 公民館活動で大切なことは、まず一つに「つどう」人が集まるということ。二つ目に「学習の場の提供」。この二つについては、今の公民館においてはすでに実施されており、非常に充実している。その中から自主的なサークル活動がスタートしている。今、大きな課題となっているのは、「つながり」があまりできていないということである。そこで、私たちは、「学習拠点として」はどうか、「活動拠点として」はどうか、そして人の輪が大事になってくるので「協働のまちづくりの拠点として」はどうか、「地域文化創生拠点として」はどうか、社会教育委員として検討していきたい。 2 ページにもどり、基本理念についてはご理解いただきたいと思う。 学習拠点としての公民館として「公民館事業の充実」「生涯学習活動の場の提供」「学習情報の提供と充実」これらについてどうか。
委員	公民館活動については、エールの中にまとめられている。 生涯学習推進計画策定に参加させていただいたが、公民館として学びの場を提供することはたくさんあるが、そこに参加している人が偏っている。高齢者、女性と。そこに多くの人に参加してもらうために何が必要かが一番重要と思う。とにかくきてもらうための施策。魅力ある公民館、魅力ある講座をいかに市民に P R し、こない人をいかにきてもらうようにするかが重要。
委員長	いかに参加者を増やしていくか、これは大きな課題になる。いかに魅力ある講座、活動をしていくか。また、参加者が高齢化していく、若い人が

委員	<p>参加していない。若い人たちをどうするか。これが大きな課題である。</p> <p>この場で、どうして公民館に若い人たちがこないのか、どうしたら参加者が増えるのか分析し、現状をとらえて対策を考えることを議題にあげてもいいのかと思う。</p>
委員	<p>私は結構応募して、参加しているほうだが、確かに時間的に昼間の時間帯の講座が多く、仕事をしている人は参加しづらいと思う。公民館で若い人が参加している講座はどんなものがあるのか、など現状はどうか。</p>
委員	<p>そういう内容を、7月の公運審との合同会議時にしてみてもいいのでは。人気ある講座やない講座を資料としてまとめていただき、議論するということでは。</p>
委員	<p>生涯学習推進計画の学習活動の実態のアンケートを見て気になったのが、学習活動をしていない（したいと思わない）という人が多い。そういう人の意識をどう変えていくかが問題である。また、市民が新たに行きたい学習の状況でこういうものを望んでいるのだとわかった。推進計画の8ページをみると、子どもの育成会の加入率がさがっているのも気になる。</p>
委員	<p>12ページに、この1年間に学習活動をしていない・できなかった理由があるが、仕事や家事が忙しく時間がない、の次に、きっかけがつかめないが31%もいる。この人たちにいかにアプローチしていくのが重要である。</p>
委員長	<p>子ども会に加入しないという人が多くなってきている。これと同じような問題が老人会でもある。</p>
委員	<p>育成会、老人会、自治会は、連携している自治会もあれば、横のつながりを強めようと思わない考えもある。役員のなり手もいなく、偏ってしまう。これも地域の課題の一つである。老人会としては、次世代との交流は非常に重要と考えている。また、土日公民館に行くと、子どもたちがいる。そういう子どもたちを募ってみてはどうか。</p>
委員	<p>どうやったら人が集まるのか。漠然と考えても答えはでない。下野市は非常にいい人材がたくさんいる。住みやすいまちと評価されている。もっとオーバーアクション、もっとPRしてもいいのではないかな。そうすれば、きっかけの一つになるのではないかな。</p>
委員長	<p>下野市は、健康面でも文化活動面でもスポーツ面でも他市に先駆けてやっている。ところがPRが下手、足りない。広めていこうという意識が足りない気がする。マスコミをうまく使えば下野市に位置づけがでてくる。</p>
委員	<p>下野市の高齢化率は他市町と同じく高いと思っていたが、低い。若い方の占める割合が多いので、公民館に来てくれる率は低くなってしまっている。こういうことを分析しながら、どう攻めるかが必要である。</p>
委員	<p>PRが足りないなど、今のままの一般市民の方と同じ考えで振興計画を作成しても同じ状態が続くという不安が正直ある。公民館とは。公民館に対するイメージが大切である。「公民館」に対して市民の目が向くことから始めて、振興計画ができないと同じ状態が続くような気がする。</p>
委員	<p>生涯学習推進計画は公運審の委員には配布しているのか。</p>
事務局	<p>お渡ししている。</p>

委員	<p>入口の部分の質問だが、今回、公民館振興計画を策定するにあたり、社会教育委員として携わり意見を述べていくと思うが、5ページに体系があり、その中で基本目標・施策目標とあるが、社会教育委員に何を求めており、何について議論していくのかこれからの方向性がわからない。6回の会議の進め方について説明していただきたい。施策目標の実現に向けて、具体的な意見を述べていけばいいのか。</p>
事務局	<p>今日の会議では、基本理念・基本目標・施策目標を素案として提示したが、これは案なので、検討していただき、次回の公運審との意見交換会までにある程度決めてしまいたいので、意見をいただきたいと考えている。</p>
教育長	<p>補足する。5ページにあるのは案である。決まったものではない。2ページ、3ページ、4ページの四角の部分が、今日考えていただきたいワークシートと考えていただきたい。例えば、2ページの学習拠点としての公民館②が、活動拠点としての公民館の領域にも③としてあっていいのではないか。昭和40年から高度経済成長期あたりに、集まり・学び・広がるという公民館三層構造論があった。そこにカルチャーセンターがでてきたりして、公の社会教育の終焉などと言われた。しかし、公民館は違うという部分がある。そんな部分から、学習拠点としての公民館には、どんな施策が必要なのか。10個から15個ほしい。例えば①公民館事業の充実も一つの施策ではないか、そのほかに講師指導者の情報も必要ではないかなどをこのワークシートの中に足りないもの、必要なものをあげていただきたい。地域文化創生拠点としての公民館には、先ほどから話にでてくる市で持っている宝をPRしていこうではないかという部分を皆さんでお話ししていただきたい。併せて、5ページの基本理念・基本目標が総合計画・推進計画に基づきあっているのか検証していただきたい。この部分を協議・意見賜れればと思う。これを固めてから、7月の公運審で具体的にどんな講座が若者に人気があるのかなどを、話し合っていたきたい。</p>
委員	<p>公民館を我々がどう考えるか。例えば、魅力ある公民館・理想的な公民館をどう考えるかを議論すべきではないか。この基本理念は硬すぎる。みんなが集まりやすい、楽しい公民館になるように考えたい。</p>
教育長	<p>コンセプトからお話しいただいてもありがたい。みんなが愛する、行きたくなる公民館、のような。</p>
委員	<p>この会議の回数が少ないので、難しいところではあるが、公民館振興計画を作るにあたって、市民のみなさんの公民館に対するイメージを聴いたりして、市民と一緒に作り上げるのが理想だと思う。</p>
委員長	<p>市民の意見を全部聞いてというと、アンケートをとっても10~20%の回収率だと思う。公民館に何を期待するかというと、必要のない人たちにとっては必要ない。興味のない人にとっては興味ないという現状がでてくる。エールをみると、15歳くらいから40歳50歳の中間層を対象とした講座が少ない。現状の中でいかに活用していくか、いかに地域に根ざした学習の拠点としての公民館を位置づけていくかが、社会教育委員に求められている。つながりをいかに広めていくかが課題になっている。</p>

委員	夜間の講座も数は少ないがある。4館ともすばらしい計画は立てている。ただ人数が集まらず残念ながら開催できないものもあった。やり方をどのようにしたらいいのか、社会教育委員と公運審の委員が話し合えば一層いいものができるのではないかな。
委員	公民館のイメージという観点がでたので、この会議と並行にアンケートをとったらどうか。
委員	公民館だけではないが、生涯学習推進計画策定時にアンケートをとっている。
委員	講座受講生対象には、終了時にとっている。
委員	時間と費用があればやってもいいが、生涯学習推進計画の時のアンケートの時と同じではないかな。
委員	推進計画の12ページの学習活動を行った場所や形態で公民館がでてい。細かくはないが、これはかなり参考になると思う。
委員	アンケートを取るのには、費用もかかるし大変だと思う。社会教育委員のみなさんが知り合い10人に公民館のイメージなどを聞いたほうがいいのではないかな。アンケートをとるのであれば、利用している人に意見を求めてもいいのではないかな。
委員	事務局にお願い。一つは資料を事前に送った時に、意見をまとめてきて当日発表してもらおうと言っていたきたい。もう一つは、計画期間が3年間とでているので、アンケートは意味がないと思う。この推進計画のアンケートを参考にして、ご自分の意見をまとめていただければと思う。 基本理念・基本目標が漠然としているので、もっとわかりやすい言葉にしたらどうか。今日これをやるのであれば、内容的なものを議論・協議していただければと思う。時間がないのであれば、いろいろな意見をだしていただいたので、FAXなりお手紙でもう一度かえってから見直して意見をいただいてもいいのではないかな。
委員長	休憩をはさみ、もう一度施策目標について議論いただく。公運審の領域に入ってきてしまっている。社会教育委員としてご意見いただきたい。
委員	公運審の領域に入っているとは、具体的にどんなことか。 講座の中身や運営については、我々は関与できないということか。
委員長	はい。
委員	そうすると、何を話せばいいのか。
委員長	社会教育委員の立場で、例えば魅力ある講座をつくるためにこういう方法がどうだろうかということをお話していかなくてはならない。講座の内容まで入ると公運審の領域となる。
委員	公民館振興計画をつくる大きな目的の一つは、今までは各公民館が指針をつくって運営していたが、市全体として方向性を決め、運営できるということだと思っている。振興計画にしたがって、公民館がどのようなことをしていくのか。細かい講座の内容ではなく、こういう講座をしてくださいという方向性を決めるのが我々だと思う。
委員	会社で例えると、社長のようには会社の運営方針を決めるのか、決まって

委員	<p>いるので、アイデアを出していくのか、何をするのかわからない。</p> <p>会社の運営方針が正しいのか、正しい方向に進んでいるのかを協議していくことになる。</p>
教育長	<p>委員名簿を見ていただくと、各界からお集まりいただいている。ここにお集まりいただいているみなさんが、市民の代表である。アンケートの話もでていますが、生涯学習推進計画時の回収率は低かった。みなさんが市民の代表と考えていただかないと際限なく広がってしまう。各界の代表のみなさんの意見を尊重しつつ、公民館振興計画をつくるにあたっては、社会教育委員として一つのものにまとめあげたいということでご理解願いたい。最初に戻っていただき、基本理念が硬いというご意見がでた。コンセプトとして「わくわくする公民館・楽しくなる公民館・行きたくなる公民館を目指して」とすればとてもわかりやすくなる。このようにいろいろとご意見をいただきたい。それぞれのお立場でご意見いただければと思う。</p> <p>〈休憩〉</p>
委員長 事務局	<p>再開する。</p> <p>第二次生涯学習推進計画の 26 ページの体系図が基本になっていることを踏まえ、公民館振興計画体系の基本理念・基本目標・施策目標を決めていただきたいことを説明。5 ページはあくまで案である。</p>
委員長	<p>基本理念は、わかりやすい魅力ある表現がいいというご意見でしたが、このことについて、宿題になる。基本理念・基本目標・施策目標について、7月5日までに案を提出していただきたい。お近くの公民館にお持ちいただくか、FAXしていただきたい。</p>
事務局	<p>ご意見いただくための用紙を郵送する。施策目標については、32年度までの計画となっているので、公民館ですでにやっているもののほかに、3年間でやっていきたいものも含めてご提案いただきたい。</p>
委員長	<p>議案（2）社会教育関係団体に対する補助金交付かかる意見について説明を求める。</p>
事務局	<p>資料3に基づき説明</p>
委員長	<p>3団体から申請があったが、いかがか。</p>
委員	<p>市民会議が20万円申請しないということがよくわからない。</p>
事務局	<p>毎年、小中音楽祭を行っているが、市民会議から20万円、市P連から15万円支出して行っていた。この部分を市から直接音楽祭実行委員会に補助金をだすことになった。</p>
委員	<p>今までだしていた補助金20万円は、市から実行委員会にもらうので、今年は申請しないということか。今までの補助金は音楽祭限定の補助金ではなく、市民会議にだしていた補助金だった。</p>
委員	<p>補足する。確かに音楽祭に対する補助金ではなく、市民会議の活動に対する補助金をもらっていた。しかし、市民のみなさんが協力的で会費がたくさん集まるようになった。その会費でいろいろな事業を行っており、その一つとして音楽祭を行っている。実行委員会として開催しており市民会議から45万円、市P連から15万円の60万円で運用していた。ただし、</p>

	<p>バス代が非常に値上がりし、市民会議だけでは苦しくなったので市に相談したところ、バス代を含め実行委員会に補助金をいただけることになったので、その部分は市民会議としては申請しないということになった。</p>
<p>委員 委員長</p>	<p>わかった。限定補助ではなかったということだね。 ほかにないか。 〈なし〉</p>
<p>委員長</p>	<p>その他の、栃木県社会教育委員協議会評議員の選出について。昨年度は花澤委員にお願いした。</p>
<p>委員</p>	<p>4年間やらせていただいたので、ほかに方をお願いできればと思うが、いないようなら引き受ける。</p>
<p>委員長</p>	<p>花澤委員にお願いする。 次回は、7月27日(木)午前9時30分から公運審との合同会議となる。 以上で閉会とする。</p>